

2026年6月9日

“国際学部設立記念” 第1回グローバルセミナーの開催及び報道機関様向け施設見学会のご案内(イベント告知及び当日の取材のお願い)

このたび、本学の国際学部において連続講座として「グローバルセミナー」を開催する運びとなりました。

第1回目は本学の国際学部長である梅津千恵子教授（鶴岡市出身）が

「Transdisciplinary（超学際）研究のすすめーアフリカ農村世帯のレジリアンスー」をテーマに、気候変動などの環境の変化に向き合いながら生活するアフリカ農村の事例を通して、コモンズ（共有資源・空間）とレジリアンス（回復力）などを参加者とともに考えます。

また、セミナー開催に先立ち、報道機関の皆様向けに国際学部フロアの施設見学会も開催し、施設概要や国際学部の取り組みなどをご紹介します。

つきましては、イベントの告知及び当日の取材、施設見学会の参加について特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

○開催日：2026年**6月17日(水)17時45分から**

○会 場：**本学新世紀館 3階(Cafeteriaの3F サルク)**

○当日のスケジュール

17時45分 施設見学会

・本学の国際学部の教授などがご案内します。

18時25分

・オープニングセレモニー（神田直弥学長よりあいさつ）

・第1回グローバルセミナー ※詳細別紙のとおり

テーマ Transdisciplinary（超学際）研究のすすめ

ーアフリカ農村世帯のレジリアンスー

講師：本学 国際学部長 梅津 千恵子

20時 終了予定

○定員等：先着約40名、参加費は無料、参加対象に制限はありません。

○申込方法：専用申し込みフォームにて申し込み。

◎グローバルセミナーに関するお問い合わせ

東北公益文科大学 SALC グローバルセミナー担当 E-mail：salc@koeki-u.ac.jp

◎プレスリリースに関する問い合わせ 本学法人企画課 上野 0234-41-1174

Transdisciplinary (超学際) 研究のすすめ

ーアフリカ農村世帯のレジリアンスー



「アフリカ農村では気候変動などの環境変動に直面しながら、さまざまなレジリアンス（回復力）を発揮しながら生活しています。ザンビアの人たちの暮らしを通して地域のcommonsとレジリアンスを考えます。」

日時 6月17日(水) 18:30~20:00

講師：東北公益文科大学 国際学部長
梅津 千恵子 教授

<プロフィール>

- ・鶴岡市出身。大学卒業後、JICA 青年海外協力隊理数科教師としてケニアで2年間活動後、国際大学国際関係学研究科修士課程修了、ハワイ大学農業資源経済学科博士課程修了 (Ph.D Agricultural & Resource Economics)。
- ・総合地球環境学研究所で「社会・生態システムの脆弱性とレジリアンス」プロジェクトリーダーとして学際研究を行う。神戸大学、長崎大学、京都大学で研究教育に従事し、2026年4月より現職。
- ・研究分野：環境資源経済学、農業経済学、開発経済学、レジリアンス
- ・研究テーマ：組織経営体の効率性分析、commonsと地域のレジリアンス



会場：東北公益文科大学新世紀館3階 (Cafeteria の3F サルク)

対象：どなたでも (定員 先着 40名程度)

参加費：無料

■お申込み■

6月15日(月)までに、申し込みフォームにてお申し込みください。

URL: <https://forms.gle/a2eHGyt5xkSQpt1MA> 申込フォーム

■お問合せ、

東北公益文科大学 SALC グローバルセミナー担当

E-mail salc@koeki-u.ac.jp

